

下関西高等学校 進路だより

令和6年10月号 進路指導部

～年内入試が始まりました～

今年は例年以上の猛暑から、一気に気温が下がり始め、日々の体調管理が難しい状況となっていますが生徒の皆さんは大丈夫でしょうか？出席状況を時々、確認させてもらっていますが、大丈夫とは言えない心配な生徒もいます。これから益々寒くなってきますが、くれぐれも夜更かしは避けて、うがい、手洗い、消毒、換気などの健康管理に努めることをお願いします。特に3年生は体調を崩すことなく、受験に向けて十分な準備ができるようにしてください。

さて、今年度もいよいよ総合型選抜を皮切りに大学入学者選抜が始まりました。3年生は受験準備の真っ最中で不安な気持ちになることもあるかと思います。しかし、この気持ちを払拭するにはひたすら授業に集中し、自学自習に打ち込むしかありません。入試が近づけば近づくほど、授業に集中してひたむきに取り組んでください。その中で、現在進行形の大学入試改革の一環としてこの数年で増えてきた選抜方法が**個人面接**と**小論文**です。そこで、進路だよりでも例年通り、**面接試験において重要なポイントとなる身だしなみ**について、再度ポイントをおさえておきたいと思います。また、小論文についても大学入学後も見据えて参考書などとは少し違った角度から説明したいと思いますので参考にしてください。特に身だしなみについては、今年度に入り大学や進路関係業者の来客の方々が一層増えました。君たちは**来客の方々が君たちの身だしなみや挨拶の様子などで学校全体がその都度、評価されていることを理解していますか？**例えば、服装が乱れている生徒や目が合っても挨拶できない生徒と来客の方々が出会ったら、その瞬間、西高生全員に対する評価が低下します。その事を十分に理解し、外部の方から「**西高生はきちんとしている!**」と高く評価されるようにして欲しいと思います。よろしくをお願いします。

<面接試験に臨む際の身だしなみ> **大切なのは第一印象!**

①**服装やヘアスタイルに気を配る。** キーワードは**清潔感**

- ・女子のスカート丈は膝が前後とも完全に隠れるようにする。
- ・短く、派手な色柄の靴下をはいていかないようにする。
- ・髪型を清楚なものにする。

男子：耳やえりにかからない、襟足をそろえる、ツンツン立たせない。

女子：眉にかからない、耳を出す、長い場合は黒色のゴムでまとめる。

- ・爪をきちんと切っているか前日までに確認する。

②**面接試験は控え室から始まっている。**

- ・姿勢を正して静かに待つことが大切だが、できるだけリラックスして。

③**面接室に入る時は必ず軽くノックする。**

- ・順番がきて名前を呼ばれたら、はっきりと返事して面接室へ入室する。

④**おじぎをきちんとする。**

- ・**会釈**は背筋を伸ばし、首を曲げずに上体を15度の角度で傾け、視線は足元から1.5m先を見るようにする、**普通礼**は普通一般の挨拶の時にする。背筋を伸ばし、首を曲げずに上体を30度の角度で傾け、視線は足元から1m先を見るようにする。
- ・ドアを閉めたら、試験官の方へ向き直り、気をつけの姿勢で試験官の方を見てから会釈をする。
- ・手は、指先を伸ばし、指のあいだが離れないように気をつける。手の位置は体のわきにおく。
- ・礼は、男子は気をつけのままの状態で腰から曲げる。女子は体を曲げると同時に、両手を体にそってすべらせて両手を前のもものあたりにくるようにする。
- ・礼が終わったら、もう一度試験官の方へ視線をもどし、気をつけの姿勢をとってから椅子へ向かって歩き出す。そして、受験生用のいすの左側に立つ。

(裏面につづく)

⑤着席の仕方と視線に注意する。

- ・指示にしたがい受験番号、名前などを、ハキハキとした口調で名乗る。

⑥いすの正しいかけ方とマナーを身につける。

- ・男子は足の間隔を 20cm 程度、女子はかかとひざをつけて座る。
- ・手の位置は指先までそろえて伸ばし、ものの上に置くか、前で軽く組むようにする。
- ・かかともつま先も揃える。
- ・椅子には腰を奥まで深くかけ背筋を伸ばす。背もたれにもたれたり、足を前に出したりしない。
- ・相手の目をまっすぐに見る。あごを引いて背筋を伸ばす。
- ・口調や言葉遣いに注意する。例えば、語尾を上げて伸ばす口調などは慎む。

⑦終わったときのマナーと退室の仕方も重要。

- ・質問が終わって「はい、結構です」などと言われたら、いすの左側に立ち、いすをもとの位置に戻して「ありがとうございました」とお礼をいい、普通礼をする。
- ・退室時もドアまで行き、面接官の方に向き直り、姿勢を正して「失礼します」といって会釈をする。身だしなみについては以上ですが、面接試験の評価ポイントについては次の 4 点が評価の対象になることが一般的に言われています。受験の際にはしっかりと確認してください。

①頭髪や服装はきちんとしているかなどの「**身だしなみ**」

②はっきりと話し、正しい言葉づかいができるか、自分の意見を明確に表現できるかの「**表現力**」

③人の言うことを正しく理解し、判断できるかなどの「**理解力・判断力**」

④与えられた課題についてきちんと考え、説得力がある発言ができたかなどの「**思考力**」

次に**小論文**についてですが、今から示す内容は志望理由書を書く際にも活かせると思いますので参考にしてください。最初に作文や感想文でない論文を書くときには論理ということを中心に意識する必要があります。論理とは議論の筋道や思考の法則を指す言葉です。したがって、「論理的」に書いたり思考したりする場合には、議論の筋道が明確で、思考の過程が法則的なものになっている必要があります。そして、「論理的」であるためには、以下の4点に注意を払うことが重要となります。

① 理由と根拠を示す

なぜそのような意見やアイデアを持つに至ったのか、その経緯や理由を示す必要がありますし、その理由の正当性や妥当性を示すデータや客観的な情報を根拠として提示することが望まれます。

② 理由や根拠となる情報が、感情的なものでないこと

「論理的」であるためには、相手が納得できる理由を提示する必要があります。そして、相手を納得させるためには、その理由が自分本位で感情的なものではなく、内容が合理的で自分だけでなく、相手の集団や社会全体の利益に還元されるという理由づけが必要となります。

③ 理由や根拠となる情報の信頼性が高いこと

伝えたい内容とその理由が相手にとって魅力的で納得できるものでも、その理由の根拠となる情報や知識が虚偽だったり不確かな情報であったりする場合、「論理的」と言えなくなる可能性があります。そこで、その情報や知識が虚偽でない、不確かなものでないということを提示する必要があります。その情報や知識が確かなものであると示すには、信頼できる情報源から適切に「引用」という手続きが有効な場合が多く、その際には、その「引用元」の情報の信頼性が十分に高いこと自体を証明することも重要となります。大学入試ではそこまでの要求は基本的にされませんが、大学入学後にレポートや論文、学会誌への投稿などをやる機会があると思いますので、その際には「引用」が必要になります。

④ 伝えたい内容と、そこに添えられる理由の繋がりが明確である

例えば、「A、だから B である」という時、A と B の関係は、本当に「だから」という接続詞で繋いで適当なのかを熟慮し、その根拠や理由を提示することが求められます。意見・主張とその理由のあいだの繋がりが相手に理解できない、納得できないものである場合、「論理的」とは言えませんので注意してください。